

平成 29 年度日本水産学会北海道支部大会 プログラム

日 程 平成 29 年 12 月 9 日（土）・10 日（日）

場 所 北海道大学国際連携機構（12 月 9 日：札幌市北区北 15 条西 8 丁目）

北海道大学大学院地球環境科学研究院（12 月 10 日：札幌市北区北 10 条西 5 丁目）

プログラム

<12 月 9 日（土）：北海道大学国際連携機構>

13:00-17:00 一般研究発表（第 1 会場：大講義室 111 号室、第 2 会場：大会議室 209 号室）

17:15-17:30 最優秀講演賞・最優秀学生講演賞授賞式（第 1 会場：大講義室 111 号室）

18:00-20:00 交歓会（エンレイソウ エルム 札幌市北区北 11 条西 8 丁目）

<12 月 10 日（日）：北海道大学大学院地球環境科学研究院>

09:00-09:45 支部幹事会（小講義室 D102）

10:00-10:45 支部総会（大講義室 D201）

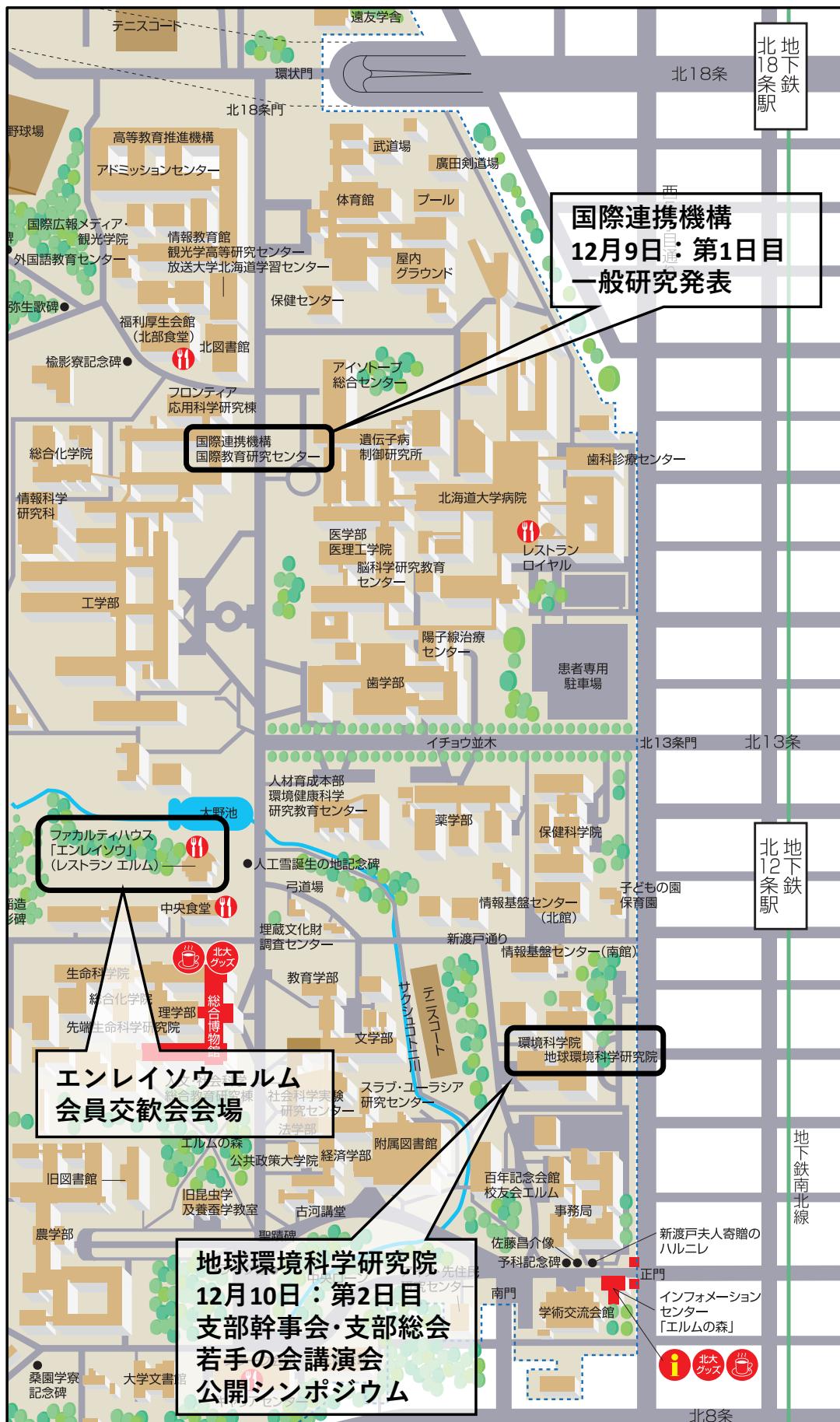
11:00-12:00 若手の会講演会（大講義室 D201）

13:00-16:45 公開シンポジウム（大講義室 D201）

大会受付

- ・ 12 月 9 日（土）：北海道大学国際連携機構 1 階エントランスホール（12:00-17:30）
- ・ 12 月 10 日（日）：北海道大学大学院地球環境科学研究院 1 階エントランスホール（9:00-15:30）
- ・ 一般研究発表：発表 12 分、質疑応答 3 分（計 15 分）
- ・ 大会参加費：1,000 円（講演要旨集代を含みます。ただし、学生参加者および公開シンポジウム、若手の会講演会への参加は無料とします。）
- ・ 会員交歓会参加費：5,000 円

会場案内図



第1日目(12月9日 土曜日)

	タイムスケジュール
9:00	9:00-9:15
	9:15-9:30
	9:30-9:45
	9:45-10:00
10:00	10:00-10:15
	10:15-10:30
	10:30-10:45
	10:45-11:00
11:00	11:00-11:15
	11:15-11:30
	11:30-11:45
	11:45-12:00
12:00	12:00-12:15
	12:15-12:30
	12:30-12:45
	12:45-13:00
13:00	13:00-13:15
	13:15-13:30
	13:30-13:45
	13:45-14:00
14:00	14:00-14:15
	14:15-14:30
	14:30-14:45
	14:45-15:00
15:00	15:00-15:15
	15:15-15:30
	15:30-15:45
	15:45-16:00
16:00	16:00-16:15
	16:15-16:30
	16:30-16:45
	16:45-17:00
17:00	17:00-17:15
	17:15-17:30
	17:30-17:45
	17:45-18:00
18:00	18:00-18:30
	18:30-19:00
19:00	19:00-19:30
	19:30-20:00

第2日目(12月10日 日曜日)

第1会場 (111号室)	第2会場 (209号室)	休憩室 (112号室)	エンレイ ソウエルム	大講義室 (D201)	小講義室 (D102)	休憩室 (D103)					
					支部幹事会						
大会受付(12:00~)											
A01	B01	休憩室 利用		公開シンポ ジウム	休憩室 利用						
A02	B02										
A03	B03										
A04	B04										
A05	B05										
A06	B06										
A07	B07										
休憩											
A08	B08										
A09	B09										
A10	B10										
A11	B11										
A12	B12										
A13											

一般研究発表 12月9日（土）

第1会場（国際連携機構：大講義室111号室）

第1会場における最優秀講演賞と最優秀学生講演賞の選考対象演題は以下のとおりです。

最優秀講演賞対象演題（☆） A11: 高博昭, A12: 實吉隼人

最優秀学生講演賞対象演題（★） A02: 佐藤真実, A03: 阿部ほなみ, A07: 戸塚あやめ,
A10: 平間友大

座長：新居久也（道栽培公社）

A01 13:00-13:15 バカガイの養殖条件の検討および養殖バカガイの品質評価

○川崎琢真（道栽培水試）・清水洋平・馬場勝寿（道中央水試）・

宮園章（釧路水試）

★A02 13:15-13:30 北海道寿都湾におけるホタテガイ養殖場の環境評価

○佐藤真実・松ヶ崎光悦（東海大生物）・櫻井隆丞（寿都町役場）・

奥村裕弥（道中央水試）・櫻井泉（東海大生物）

★A03 13:30-13:45 北海道苦小牧沿岸におけるハイイロハスノハカシパンの成長と成熟

○阿部ほなみ・福井啓真（東海大生物）・小形孝・飯村幸代

（道栽培公社）・赤澤一貴（苦小牧漁協）・櫻井泉（東海大生物）

A04 13:45-14:00 築港工事根固め材（網袋）で出来るアイナメの繁殖コロニー（ホッケ資源回復へのヒント）

○宗原弘幸・鈴木将太・橋爪伸崇・加藤大樹・吉田隼祐・大河内裕典・
東村拓志（北大フィールド科セ）

座長：宗原弘幸（北大フィールド科セ）

A05 14:00-14:15 沖合海域の魚礁ブロック近傍における採水の試み

○大橋正臣・須藤賢哉・伊藤敏朗（寒地土研）・佐野朝昭・中村知道
(アルファ水工)

A06 14:15-14:30 超音波テレメトリーシステムを用いたシシャモの河川遡上行動の解析

○新居久也・藤井真・今野義文・米田隆夫（道栽培公社）

★A07 14:30-14:45 かご漁具を想定した水槽実験によるトヤマエビの網目選択性の推定

○戸塚あやめ・藤森康澄・清水晋（北大院水）

休憩 14:45-15:00

座長：大橋正臣（寒地土研）

A08 15:00-15:15 網走沖における植物プランクトンによる窒素態栄養塩の取り込み能
力の位置づけ

○井上紘佑（東農大院ア）・塩本明弘（東農大ア）

A09 15:15-15:30 生産と流通の最適化による持続可能な北海道水産業モデルの構築

○和田雅昭・松原仁・鈴木恵二・長崎健・安井重哉・高博昭
(はこだて未来大)・川村秀憲・山下倫央・横山想一郎(北大院情)・
塩谷浩之・岸上順一(室蘭工大)・吉野正則・半澤悟・長部太郎
(日立製作所)

★A10 15:30-15:45 生産に役立つ漁獲予測システムの開発

○平間友大・横山想一郎・山下倫央・川村秀憲(北大院情)・鈴木恵二・
和田雅昭(はこだて未来大)

☆A11 15:45-16:00 流通に役立つ漁場予測システムの検討

○高博昭(はこだて未来大)・長部太郎・半澤悟(日立製作所)・
岸上順一・塩谷浩之(室蘭工大)・和田雅昭(はこだて未来大)

座長：櫻井 泉（東海大学）

☆A12 16:00-16:15 北海道えりも以西道南地区におけるサケ稚魚の放流時期の検証

○實吉隼人・越野陽介・青山智哉・(道さけます内水試)・楠田聰(網走
水試)・鈴木慎(渡島さけます増協)・宮腰靖之(道さけます内水試)

A13 16:15-16:30 早採りマコンブのペースト製法と品質改良について

○武田忠明・三上加奈子・菅原玲・成田正直・飯田訓之・辻浩司(道中央
水試)・小玉裕幸・姥谷幸司(釧路水試)・佐々木茂文・古田智絵・
吉川修司(道食加研)

第2会場（国際連携機構：大会議室209号室）

第2会場における最優秀講演賞と最優秀学生講演賞の選考対象演題は以下のとおりです。

最優秀講演賞対象演題（☆） 対象者なし

最優秀学生講演賞対象演題（★） B01: 永田淳, B02: Namgung Jin, B03: 小山海斗,
B04: 塚原杏奈, B05: 黒田真道, B06: 山口文, B08: 樋口一郎, B09: 由比智春,
B10: 中川絵利奈, B11: 松山友矩, B12: 近藤稔

座長：藤本貴史（北大院水）

★B01 13:00–13:15 ホールマウント免疫染色法による3種カレイ受精卵の種判別

笠井慶・○永田淳・峯野博和・藤崎雄大（北大院水）・蓮平裕次
(北大院水・長大海セ)・武田康孝(エコニクス)・藤田敏明(八戸工大)・
東藤孝・原彰彦・平松尚志(北大院水)

★B02 13:15–13:30 メダカにおけるLR8型ビテロジエニン受容体遺伝子のノックアウト：
CRISPR/Cas9による変異導入初世代の作出

○Namgung Jin・小山海斗・勘林優樹・水田絢子・廣島美枝(北大院水)・
Yeo In-Kyu(済州大)・東藤孝・平松尚志(北大院水)

★B03 13:30–13:45 メダカにおける低密度リポ蛋白質受容体遺伝子ノックアウト：
CRISPR/Cas9による欠損導入初世代の作出

○小山海斗・Namgung Jin・勘林優樹・永田淳・蓮平裕次・吉田達也・
東藤孝・平松尚志(北大院水)

★B04 13:45–14:00 遺伝子導入メダカ初世代における組換え蛋白質の発現：
pT2/TransposaseシステムとpCAGGS/I-SceIシステムの比較

○塚原杏奈・吉田達哉・蓮平裕次・東藤孝・平松尚志(北大院水)

座長：川崎琢真（道栽培水試）

★B05 14:00–14:15 クローンドジョウの雑種起源と非還元配偶子形成メカニズムの検証
○黒田真道・藤本貴史（北大院水）・村上賢(麻布大獣医)・荒井克俊
(北大院水)

★B06 14:15–14:30 母系祖先の異なる4倍体フナ雄に見られた精子形成2型

○山口文・藤本貴史(北大院水)・村上賢(麻布大獣)・鈴木絢子・
田中英樹(群馬水試)・山羽悦郎(北大フィールド科セ)・荒井克俊
(北大院水)

B07 14:30–14:45 精子凍結保存におけるサクラマスとシロザケの違い

○藤本貴史・遠藤充・兼安敬久(北大院水)・高橋英佑・傳法隆・
阿達大輔・山羽悦郎(北大フィールド科セ)・Joanna Nynca・
Andrzej Cierszko(ポーランド科学アカデミー)・市村政樹(標準
サーモン科学館)・荒井克俊(北大院水)

休憩 14:45–15:00

座長：四ツ倉典滋（北大フィールド科セ）

★B08 15:00–15:15 キタムラサキウニMYP遺伝子プロモーター領域における核内受容体
COUP-TF結合能の解析

○樋口一郎・津江志緒利・西宮攻・浦和寛・都木靖彰（北大院水）

★B09 15:15–15:30 キタムラサキウニにおけるVtg-likeタンパク質の合成器官の解明
○由比智春・西宮攻・浦和寛・都木靖彰（北大院水）

- ★B10 15:30-15:45 ホタテガイ外套膜組織中に存在する毒物質の探索-脂肪酸合成酵素阻害物質について-
○中川絵利奈・長谷川千尋・高橋亮也・長谷川靖(室工大院)
- ★B11 15:45-16:00 アコヤガイ真珠層抽出成分のPC12神経細胞におよぼす効果
○松山友矩・富士達矢・長谷川靖(室工大院)
- ★B12 16:00-16:15 紅藻ダルスを混合した野菜漬け物の発酵過程におけるダルス色調特性の変化
○近藤稔・山崎浩司・川合祐史(北大院水)・小西靖之・木下康宣(道工技セ)

平成29年度日本水産学会北海道支部大会

公開シンポジウム「みなと(漁港)で、いさり(漁業)を考える」

日 程: 平成29年12月10日(日)13:00-16:45(12:30開場予定)

場 所: 北海道大学大学院地球環境科学研究院 大講義室D201

企画責任者: 櫻井泉(東海大生物), 大橋正臣(寒地土研), 山口幹人(稚内水試)

開催趣旨 : 漁港を核とした漁業地域は、水産物供給に加えて漁業者による海難救助や国境監視、環境モニタリングといった多面的機能を通じて国民の生命・財産を守る重要な役割を果たしている。しかし、道内の漁業地域では、高齢化・過疎化の進行に伴う漁港利用者の減少が顕在化しており、一部地域では漁港機能の統合も進められている状況にある。そこで、本シンポジウムでは、漁港利用の現状と課題を整理しつつ、遊休化した漁港を蓄養や養殖の場として有効活用しようとする取組について話題提供をいただきながら、漁業地域の活性化に向けた漁港の在り方について考えていきたい。

プログラム

13:00-13:05	開会挨拶	櫻井泉(東海大生物)
13:05-13:10	趣旨説明	大橋正臣(寒地土研)
		座長 櫻井泉(東海大生物)
13:10-13:45	S1 北海道の漁港漁村を取り巻く現状と取組	田中郁也(北海道開発局)
13:45-14:20	S2 北海道の漁港利用の現状と新たな取り組み	山本和人(北海道庁)
14:20-14:25	休憩	
		座長 山口幹人(稚内水試)
14:25-14:50	S3 日本海南部海域における二枚貝垂下養殖の取り組み	清水洋平(道中央水試)
14:50-15:15	S4 漁港を活用したマナマコ中間育成試験	山田俊郎(西村組)
15:15-15:40	S5 クロソイ養殖の中止事例から推察される北海道での魚類養殖振興に向けた課題	佐藤敦一(道さけます内水試)
15:40-16:05	S6 北海道の漁港・港湾における泊地の有効利用について	伊藤敏朗(寒地土研)
16:05-16:10	休憩	
16:10-16:40	総合討論	進行 櫻井泉・大橋正臣・山口幹人
16:40-16:45	閉会挨拶	山口幹人(稚内水試)

口頭発表要領

- 1) 口頭発表における資料の提示は、パワーポイントファイルを PC 用液晶プロジェクターで投影することにより行います。PC ソフトのバージョンはパワーポイント 2016、OS は Windows 10 です。

口頭発表時間 15 分：講演 12 分、質疑 3 分

10 分経過時に予鈴が 1 回、12 分で本鈴が 2 回鳴ります。以降、1 分経過ごとに警告鈴が 3 回鳴ります。

※ パワーポイントの PC 操作は、発表者ご自身で行ってください。

- 2) スライドはマイクロソフトパワーポイントで作成してください。予め Windows 10、パワーポイント 2016 での動作確認をお願いします。
- 3) パワーポイントファイルを入れた USB メモリーを各自会場にご持参ください。パワーポイントのファイル名は各自の講演番号（半角数字 後日、支部ホームページに掲載、例：A01 あるいは B11）としてください。USB メモリーについては、各自で必ずウィルスチェックを行ってからご持参ください。
- 4) 発表用パワーポイントファイルは各会場の PC にダウンロードさせていただきます。一般発表開始前の空き時間にファイルを会場の PC にコピーしてください。会場係の指示に従って PC へのコピーをお願いします。

※ 発表ファイルは、講演終了後に速やかに破棄します。

- 5) 発表者自身の PC を使用する場合は、予め会場係に申し出てください。また、Mac を使用する発表者は、プロジェクターに接続用の機器をご持参ください。